

重点項目9 がん予防対策

1 スローガン ●生活習慣の改善とがん検診の受診により、がんからあなたの身を守りましょう

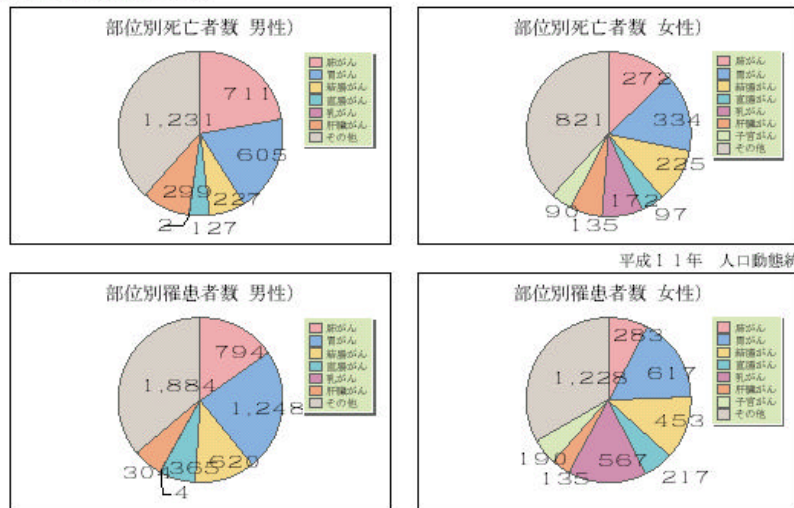
2 現状

がんは死因の第一位

平成11年の宮城県のがんによる死亡者は5,348人（男性3,202人、女性2,146人）で死因の30.4%を占め第一位です。

部位別にみると、肺がんの死亡数が男女合計で最も多く以下胃がん、結腸がん、肝臓がんの順となっております。

また、宮城県は高い登録精度を持つ地域がん登録事業を実施しており、その登録資料によると、平成5年から平成9年の期間に年平均8,909人（男性5,219人、女性3,690人）のがんに罹患しています。その部位別構成は、男女合計で胃がんが最も多く、女性では乳がんが罹患数第2位であるなど死亡とは異なります。



宮城県がん登録管理事業調査(平成5年から平成9年の年平均)

がんと生活習慣

がんの罹患にはさまざまな生活習慣、特に喫煙と食事習慣が大きくかかわっていると考えられていますので、これらの生活習慣を改善することによりがんになる人を減らすことができます。

受けていますか？がん検診

地域、職域等における宮城県の部位ごとのがん検診受診率は下表のとおりですが、がん検診の受診を促し早期発見、早期治療につなげることにより、がんによる死亡を減らすことが可能です。

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
受診率	50.2%	61.0%	41.3%	36.4%	37.3%

※平成12年県民健康栄養調査に基づく数値で、市町村及び職域等全てのがん検診受診率。  
 (注)「死亡率」は、年齢調整死亡率を指す。

3 目標値

項 目	現 状 (2000年)	目 標 (2010年)
がん検診受診率の向上		
肺がん・胃がん	50.2%、61.0%	70%
その他のがん	36.4~41.3%	60%

4 具体的施策

項 目	推進主体	推 進 内 容	対 象
検診に関する知識の普及	県、市町村 検診実施機関	・インターネット、研修の実施、健康教育などにより、がん検診の効果に関して正しい知識の普及を図る	市町村、県民
検診受診勧奨	市町村、検診実施機関	・受診者の固定化が進む傾向がみられるため、未受診者への受診勧奨を積極的に行う	市町村、県民、 検診実施機関
検診受診機会の拡大	市町村、検診実施機関	・医療機関での個別検診の実施や休日・夜間受診の実施により、受診機会の拡大を図る	市町村、検診実施機関
検診精度管理	県、市町村 検診実施機関	・検診の受診結果を把握することにより精度評価を行い、検診の精度向上を図る	
がんの実態把握	県	がん登録事業をさらに充実し、がん罹患及び予後の正確な実態把握を図る。	

5 目標値達成により期待される成果

生活習慣を改善し、「非喫煙率の増加」など各論での目標値を達成すること及びがん検診受診率を上記の目標値まで向上させることにより、がん死亡率は下記のとおり低減すると試算されます。

項 目		現 状	目 標	死亡率の低減		
生活習慣の改善	非喫煙率の増加	男性 43.8%	62%	6.4%		
		女性 86.3%	92%			
	栄養・食生活	食塩摂取量の減少	13.8g	12.5g以下	3.0%	
		野菜摂取量の増加	325g	350g以上		
		肥満者の割合の減少	30代以上の男性	28.8%		25%以下
			40代以上の女性	28.5%		
多量に飲酒する人の減少	男性	12.5%	7%			
	女性	0.5%	0.3%			
検診受診率の向上	胃がん (40歳以上)	50.2%	70%	6.3%		
	肺がん (40歳以上)	61.0%	70%			
	大腸がん (40歳以上)	41.3%	60%			
	乳がん (40歳以上)	36.4%	60%			
	子宮がん (30歳以上)	37.3%	60%			



目標値を達成することにより、がん死亡率は約15%低減すると期待されます。